

才四十四兵站地区隊部隊略歴

年月日	概	要
昭一八、三、九	水戸 東部才三十七部隊 炭木泉水市	
一八、三、六	宇品	
一八、五	「バンサ」 「ウエワク」	
一八、五	「パラオ」寄港 特別状況なし	
一八、五	主力は「ハンサ」に位置し「ハンサ」 「ウリンガン」 「ムギル」 兵站地勤務	
一八、五	に又一支隊は警備隊才四中隊基幹」は「ウエワク」勤務	
一九六、一、五	主力（警備隊欠）は「アイタベ」作戦（担送及警備）警備隊は六日「ハンサ」	
一九六、一、五	撤退「テンプル」にて自活	
一九六、一、三	主力「テンプル」に集結自活及警備 一部（警備才一中隊）は「セピツク」河畔警備	
二〇、一、三	主力（警備隊主力欠）及警備 才四中隊は「ボイキン」警備及戦斗次で「サ	
二〇、一、三	スイアル」へ警備主力は依然「テンプル	
一九、六	「アイタベ」作戦間の担送	
一九、六	以後食糧断絶期栄養失調及「マラリア」特に此の間の機動及戦斗	
一九、六	（備考）右の外空襲及「マラリア」に依る損害は地域及時期の如何を問はず	
一九、六	全期に亘り不斷に多発せり	

賞詞、
勤務に対し
「バンザイ」兵站勤務に対し「アイタベ」作戦間の担送
部隊長ノ、大佐 氏原 静英、
熊本県下益城郡中山村萱野九三六 生還

才十二野戦防空隊司令部隊略歴

根才五〇六一部隊

年 月 日	概 要
昭一七、八、二	市川（東安）中部才七十四部隊 千葉県市川市
一八、八、〇	門司
一八、九	「ウエワクレ」 満州警備 主なる作戦行動 ウエワクレ陸後「ウエワクレ」地区の防空諸部隊を統一指揮し防空に任す（オ 四航空軍司令部官指揮下） より主力を以て「アクタペ」作戦に参加高射砲部隊を以て山砲隊を編成し軍 直轄砲隊として活躍す（軍直） 「ウエワクレ」後援才五十一師団長の指揮下に入り「セピツクレ」「タヌンバス」 地区に入り現地自衛 任す 庄下友隊長の指揮下に入り依然「タマンバス」地区にて食糧の生産及補給に 食糧の断期の栄養失調「マラリア」による「ウエワクレ」「克蘭パス」 アクタペ作戦及その後のセピツク地区への機動
一九、九、月	
二〇、一、月	
一九、九、月	
一九、五、月	

備考 右の外空龍衣及「マリア」に依る損害は地域及時期の如何に因はず

全期に亘り不斷に多発せり

部隊長 ノ、ケ佐 岡久文一郎 昭和一九二二「ウエワクル」に於て戦死

之、ケ佐 工藤政男 昭和一九二三より代理をなせるも昭和二二、二三

不慮死「ラバウル」に於て戦死服役中

独立野戦照空才四大隊才二中隊部隊略歴

昭和五〇六六部隊

年月日	概	要
昭一七、三、三〇	久留米 西部才五十一部隊 福岡県久留米市	
一八、一、一	釜山	
一八、一、二四	「ラバウル」	
一八、三、三	「ハンサ」	
一八、一、八、二	「トラック」島を経て「ラバウル」上陸「ゴゴボ」に於て防空戦斗	
一八、一、八、二	「ラバウル」防空戦斗	
一八、一、八、二	「ハンサ」防空戦斗	
一八、一、九、三	「アレミリス」防空及海岸警備	
一九、一、九、八	才一五に属し「ブーツ」附近の警備	
一九、一、二、八	「マプリック」附近現地自衛警備及地上戦斗	
	「備考」昭和一九四月及五月六月は「アレキミス」より「ウエワク」地区への	
	移動	
	復員完結	
二一、一、二四	「アレキミス」より「ウエワク」への機動間	
	「アイタペ」作戦（損送）	

(205)

1023

昭和二十年二月

昭和一九、九以後食糧断絶期の栄養失調及「マラリア」特に其の間の機動及戦
斗
「精舎」右の外空襲及「マラリア」に依る損害は地域及時期の如何を問はず
全期に亘り不断に多発せり
實詞 昭和二十年「マプリック」方面地上戦斗に對し（三宅部隊配属）
部隊長 ノ、大尉 松島正平 群馬県桐生市諏訪町九一三 生還

猛才五〇六七部隊

(107)

才四十六固定無線部隊略歴

年月日	概	要
昭一六、十、八	広島市に於て編成	
一六、二、五	宇品港出発	
一八、三、五	「ウエワクレ」「ニューギニー」上陸	
	主なる作戦行動	
一八、三、九	「ウエワクレ」附近無線通信に任ず	
一九、四、三	「ボイキン」附近無線通信	
二〇、三、八	「ハンダラ」地区に於ける通信、自班	
二一、一、二四	復員完結	
	備考「右の外空襲及「マラリア」に依る損害は地域及時期の如何を問はず全	
	期に亘り不斷に多発せり	
	部隊長 中尉 杉浦俊彦	

才外東ニユ一

才四十四野戦道路隊部隊略歴

年月日	概要	要
昭一六、七三	密岡に於て編成	
一八、一、一	釜山港出発	
一八、三、二	「ハンサ」ニューギニー上陸	
	主なる作戦行動	
一八、六、九	「フィニステル」山系自動車道構築作業（才二十師団配属）	
一八、六、二	中井支隊「フィニステル」山系山戦（主として道路作業）	
一八、三、二	「マダン」附近軍直轄諸作業	
一九、三、五	「ラム」及「セピック」河渡河援助諸作業	
一九、六、一八	「ホイミン」附近道路補修作業	
一九、九、二八	「ウエワク」山南地区に於りて自活及警備	
二一、一、二四	復員完結	
	主なる損害の発生時期地帯及原因	
一九、三、五	「ラムセピック」河渡河援助作業	
一九、九、月	食糧断絶期以後の栄養失調及「マリア」	
	「備考」右の外空襲及「マリア」に依る損害は地域及時期の如何を問はず	
	全期に亘り不斷に多発せり	
	部隊長 大佐 鈴木長四郎	
	広島市皆実町二丁目五四生還	

独立工兵オハ連隊部隊略歴

年月日	概	要
昭二、九月	金沢にて編成	
一七、二、五	上海港出発	
一八、三、二	「ハンサ」ニューギニー上陸	
一八、三、二	主なる作戦行動	
一八、三、二	主力を以て「アレキシス」部を以て「ハンサ」飛行場の整備補修（飛行オハ師団長指揮下）	
一九、一、四	「アレキシス」飛行場整備及地上整備	
一九、一、六	「アレキシス」より「ウエワク」へ	
一九、一、八	「アイタペ」作戦参加（四十一師団配属）	
一九、一、二〇	「トリセリ」山系南側地区に入り四十一師団指揮下において自活及邀撃	
二一、一、三〇	復員完結	
一九、九月	主なる損害の発生時期地及原因	
	「アレキシス」より「ウエワク」への転進	
	「アイタペ」作戦の戦間	
	以後食糧断絶下の栄養失調及「マリア」特に此の間の機動	
	「備考」右の外空襲及「マリア」に依る損害は地域及時期の如何を問はず	

全期に亘り不常に多発せり
部隊長名ノ、大佐 千葉太重郎

昭和十九年十一月十七日「マリン」に於
て戦死

オニ野戦輸送司令部略歴

年月日	概	要
昭二七、九 一七、九	名古屋市中部オ八部隊 愛知県名古屋市中	
一八、四、五	「ハンサ」	
一八一、九三	昭和一七未より翌年四月迄ボーゲンビル島兵站業務が島に在りて戦中 「ハンサ」兵站基地司令官として兵站業務輸送揚揚警備防空及飛行場整備等 の一切に任す	
一九四三、三七	「ホルラン」マに転進同地区オ十八軍部隊総指揮官となり米軍の上陸に対 して攻撃	
一九四、六、一五	「ゲニム」より「サルミ」に向い転進	
一九七、一、八	「サルミ」地区警備	
二一、六、三	「復員完結」	
	「ハンサ」より「ホルラン」マへの転進（約二五名）は追及中敵の上陸に 会し「ホルラン」マ「アイタベ」向にて全滅	
	「ホルラン」マより「サルミ」の転進（食糧不足「マリア」）	
	「サルミ」地区の警備（食糧不足「マリア」）	
	備考「右の空襲及「マリア」に依る損害は地域及時期の如何を問はず全 期に亘り不断に多発せり	

外東ニユ一

才三十六野戦道路隊部隊略歴

猛才五七四三部隊

年月日	概	要
昭和十八、三、八	豊橋 中隊才十一部隊 静岡県豊橋市	
一八、三、三〇	宇品	
一八、五、元	「ハンサ」	
一八、六、一八	「パラオ」に於て道路補修	
一八、九、一	「フイニステル」山系自動車構築（オニ十師団配属）	
一九、二	中井支隊「フイニステル」佐戦参加（主として道路作業）	
	始め「ホルランヂヤ」に向い「エリマ」出發隊長代理佐藤大尉の指揮する部隊主力約一六〇は「ウエワク」より更に西に前進時十七連合軍の上陸に会し（四三三）「サルミ」に向い戦進中「アルソウ」附近にて全滅（戦病死）	
	「ウエワク」附近には部隊長佐藤中佐以下約一〇〇名残り昭和一九、四、三、四「ウエワク」	
	「ボイギン」向自動車道構築及自活警備に任ず	
	同右「ウエワク」部隊は三、五、二〇、ハ「ウエワク」邀撃戦用参加	
	「ホルランヂヤ」に向ひ前進せる部隊主力は難路と食糧不足と敵の妨害に依り殆ど全滅す	
	「ウエワク」部隊昭和十九、九食糧断絶期以後栄養失調及「マラリア」	

「備考」右の外空襲及「マリア」に依る損害は地域及時期の如何を問はず
全期に亘り不斷に多発せり

概況 中井支隊配属部隊として「フィニステル」作戦に対し
部隊長 ノ、中佐 佐藤条吉 名古屋市中区浅間町八 生還

マダガスカル病院部隊略歴

年月日	概	要
昭一八、八、二	堀に於て編成	
一八、八、三	内町港出港	
一八、九、七	「ウエワクレ」ニューギニー上陸	
	主なる作戦行動	
一八、一、九、二	「ブーツ」病院開設	
一九、一、九、五	「ボイキン」に病院開設	
一九、一、九、九	「アイタペ」作戦 「ダンダヤ」病院開設	
一九、一、三、六	オ四十一師団に属し山南転進自活及一部患者収療	
二〇、一、二、八	「コンゲ」附近に於て自活及警備	
	主なる損害の発生時期地災及原因	
一九、九、月	食糧断絶期以後の栄養失調及「マラリア」	
	特に同右期間に於ける山南地区転進	
	「備考」右の外空襲及「マラリア」に依る損害は地域及時期の如何を問はず	
	全期に亘り不斷に多発せり	
	部隊長名 医中尉 林俊雄	

独立野戦照空才三中隊部隊略歴

年 月 日	概 要
昭一八、一、九	日本 企救町 西部オヒ十三部隊高射砲才四連隊補充隊福岡県企救町
一八、一、三〇	内司
一八、三、二	「ハンサ」
一八、三、八	「トラツク」 「ラバウル」 「パラオ」 寄港
一八、三、九	「ハシサ」 防空
一八、四、一、九	「ホルランヂヤ」に転進し同地区の防空
一八、四、一、九	「ホルランヂヤ」より「サルミ」に転進
一八、七、二〇	「サルミ」地区警備
二一、一、一八	復員完結
	「ホルランヂヤ」より「サルミ」へ転進（食糧不足「マリア」）
	「サルミ」地区の警備（食糧不足「マリア」）
	「備着」右の外空襲及「マリア」に依る損害は地域及時期の如何を問はず
	全期に亘り不戦に多発せり
	部隊長 大尉 立川 兎男 長崎県西彼杵郡瀬川村瀬瀬 生還

伊外東ニユ

独立野戦高射砲才三十九中隊部隊略歴

年月日	概要
昭一八、二九	甘木 西部才七十三部隊（高射砲才四連補充隊）福岡県企救町
一八、一	西門司
一八、二、三〇	「ウエワク」
	「パラオ」密着特別状況なし
一八、二、八四	「ウエワク」地区防空戦中
一八、四、八九	「ブーツ」地区防空戦中
一八、九、一九四	「ホルランヂヤ」地区防空戦中
一九四、一、二六	「ホルランヂヤ」より「サルミ」に転進
一九六、一、二八	「サルミ」地区の警備
二一、六、八	復員完了
	「ホルランヂヤ」より「サルミ」迄の転進（食糧不足「マラリヤ」）
	尔後「サルミ」地区の警備
	「備考」右の外空襲及「マラリヤ」に依る損害は地域及時期の如何を問はず
	全期に亘り不斷に多発せり

迫撃オニ十一大隊部隊略歴

年月日	概 要
昭二、三、九、三	沼に於て編成
一七、二	「ラバウル」 「ニューギニー」上陸 主なる作戦行動
一八、四、四	「シオ」上陸（「ツルブ」方面より）
一八、一、六、三	「フインシハーフェン」作戦（オニ十師団配属）
一九、一、九、四	「フインシ」より「マタン」を経て「ボイギン」に機動途中「ハ」号作戦 （「ガリ」転進）
一九、五、一、三	「ボイギン」附近自若及警備
二〇、一、二、六	「ボイギン」附近戦術次で「サルボカワ」警備及戦術
一九、五、一、九、八	オニ中隊はオニ六六配属にて「アイタペ」作戦参加
二一、一、一、八	復員完結
一九、九、月	主なる損害の発生時期地及原因 「フインシ」作戦（戦死及戦病死） 「ハ」号作戦（「ガリ」転進）難路及食糧不足 以後食糧断絶期の栄養不足「マラリヤ」並にこの間の戦術 「備考」右の外空襲及「マラリヤ」に依る損害は地域及時期の如何を問はず

20 内東ニユ

部隊長

全期に亘り不斷に多発せり

ノ中佐 大島瑞穂 大阪府才一世課 昭二九、九、二転出
之少佐 岡本佐喜男 神奈川県鎌倉市二階堂三三九 生還

才三十八野戦道路隊部隊略歴

植才八二三一部隊

年月日	概要
昭一六、八、一	京都市 中部才四十一部隊工兵才五十三連隊 京都市
一六、三、一	壹旗島出発「マニラ」にて戦務從事
一八、三、三	「ハンサ」
	比島作戦に従軍
八三、一、八	「フイニスデル」山系自動車道構築（才二十師団配属）
八九、一、二	中井支隊「フイニスデル」山系作戦へ道路構築陣地構築及警備
九四、一、五	「セピツク」渡河援助作業
九六、一、九	「ウエワク」地区道路作業
九九、一、二	「ハンダラ」附近にて自活
二〇三、二、五	「ボイキン」地区邀撃戦南
二〇六、二、八	軍復廊陣地構築及一部戦南
一九九	以後食断絶期の栄養不良及「マラリヤ」
	「ボイキン」附近戦南
	「備考」右の外空襲及「マラリヤ」に依る損害は地域及時期の如何を問はず 全期に亘り不斷に多発せり

オト月ニユ

	部隊長 八、大佐 神谷 勇 三重県河藝郡若松村大字若松 少佐 彦城 幸七 愛知県豊橋市駒形町海中 昭和六、六、三 撰 生選
--	--

建築勤務才五十一中隊部隊略歴

年月日	概	要
昭和十六年七月	奈良に於て編成	
一八、八、六	宇品港出発	
一八、四、三	「ハンサレ」「ニューギニー」上陸	
	主なる作戦行動	
一八、四、一八	「マダン」地区建築作業	
一八、三、一四	「ウエワク」及「ボイキン」地区建築作業一部八四月「ホルランデマ」に回	
	い転進中「ホルランデマ」	
	未到着のまゝ行方不明	
一九五、一、九	「アイタペ」作戦へ前進に於ける野戦建築諸作業	
一九九、一、八	軍司令部才二十師団及才四十一師団に分属し山南に転進し自給整備及建築	
	主なる損害の発生時期地災及原因	
	「アイタペ」作戦（食糧不足下の作業）	
一九、九月	食糧断絶期に於ける山南転進及作業強行（栄養失調及「マラリヤ」）	
	「備考」右の空襲及「マラリヤ」に依る損害は地域及時期の如何を問はず全	
	期に亘り不断に多発せり	
	部隊長 大尉 北村彦五郎	
	滋賀県大津市松木町石場一六 生還	

シ内東ニユ一

野戦高射砲才六十四大隊部隊略歴

年月日	概要
昭一八、七、一	企救 西部才七十二部隊 福岡県企救町
一八、七、三〇	門司
一八、五、五	コブードル
一八、一、九六	コパラオレ島防空警備
一九、七、一八	コブードル地区防空戦隊(才四航空軍指揮下)
一九、一、二〇八	コアイタペル作戦参加(後方担送)
二一、一、二四	コブルイレ「マルイレ」地区警備及現地自活 復員完結
一九、九	コアイタペル作戦向後方担送 食糧断絶期以後の栄養失調及「マラリヤ」時に此の向の機動 「備考」右の外空襲及「マラリヤ」に依る損害は地域及時期の如何を問はず 全期に亘り不斷に多発せり

野戦機関砲才三十八中隊部隊略歴

通称号 猛才ハ〇五二部隊

年月日	概要
昭一八、八、五	小倉 機内砲才三大隊西部七十二部隊 福岡県小倉市
一八、九、四	宇品
一八、一〇、五	「ホルランヂヤ」
一八、一〇、三	「パラオ」寄港 特別状況なし
一八、一〇、四	「ホルランヂヤ」防空戦
一八、一〇、五	「ダグア」防空戦
一八、一〇、六	「アイタペ」作戦（歩二五指揮下後方警備）
一八、一〇、七	「ダグア」及十国峠附近警備及戦
一八、一〇、八	「カボイビス」附近邀撃
一八、一〇、九	「アイタペ」作戦の担送
一八、一〇、一〇	食糧断絶期以後の栄養失調及「マラリヤ」
一八、一〇、一〇	「ダグア」附近の戦
一八、一〇、一〇	「備考」右の外空襲及「マラリヤ」に依る損害は地獄及時期の如何を問はず
一八、一〇、一〇	賞罰 歩七九配属部隊として十国峠附近の戦に對し

7/外家ニユ

	部長 少佐 安藤六人 熊本菊池郡原水村七五二 生遷 備考 本表閲覧に当りては先に配布せる「ニューヤニ」佐執事情を参照せられ度

野戦機関砲才三十九中隊部隊略歴

年月日	概要
昭一八、八、五	小倉に於て編成
一八、九、四	宇品港出発
一八、一〇、六	「ホルランヂヤ」ニユーギニー上陸地矣 主なる作戦行動
一八、一、一四	「ホルランヂヤ」地区の防空
一八、一、一六	「ホルランヂヤ」より「サルミ」に向い転進
一八、一、二八	「サルミ」地区の警備 主なる損害の発生時期地矣及原因
	「ホルランヂヤ」より「サルミ」への転進（食糧不足「マラリヤ」） 「サルミ」地区の警備（同右）
	「備考」右の外空襲及「マラリヤ」に依る損害は地域及時期の如何を問はず 全期に亘り不斷に多発せり
	部隊長名 ノ、大尉 橋本喜藏 福岡県福岡市商畑新町二四

昭一八、八、五

独立工兵第三十六連隊部隊略歴

年月日	概	要
昭一八、三、五	柏（上海）に於て編成	
一八、三、五	吳松港出発	
一八、四、三	「ハンサレ」「ニューギニー」上陸地矣	
	主なる作戦行動	
一八、五、六、三	「アレキシス」飛行場整備一中隊「フィンシ」作戦参加	
一九、一、九、三	「ウエワク」飛行場整備	
一九、三、七	「ホルランデヤ」転進の爲「ウエワク」出發途中「バニモ」附近に於て敵の上陸に会し「ゲニム」に前進中敵と戦南大部戦死す（一ニ名帰還）	
一九、四、一、三	「ベリンガ」附近に現地自活	
一九、四、一、三	山南逸撃（二十師団配属）	
一九、四、一、三	「ウエワク」残置の約一八〇名の行動	
二、一、二、四	復員完結	
	部隊主力の「ウエワク」より「ホルランデヤ」への転進	
	「ウエワク」残置部隊 昭和一九、九食糧断絶期以後の栄養失調及「マラリア」	
	特に此の間の戦況	
	「捕虜」右の外空襲及「マラリヤ」に依る損害は地獄及時期の如何を問はず	
	全期に亘りて不斷に多発せり	

24 頁 二 4

部隊長名

中佐 高城義家 昭和一九六頃戦死
古清水政雄 北海道札幌郡豊平町大字月寒村
「ウエウク」残置隊の隊長 生還

独立野戦高砲中隊部隊略歴

昭和九八二四部隊

年月日	概要
昭和八、七、九	名古屋へ「ニューゼニール」ブーツ」中部中隊二部隊 愛知県名古屋
一八、四	初旬大阪港
一七、三、八	「ウエワクル」
一七、三、八	独立混成中隊二十一旅団高射砲隊として佛印にありしものなり
一七、三、八	「ウエワクル」防空戦中
一七、三、八	「ブーツ」防空戦中
一七、三、八	「アイタペル」作戦参加（後方担送）
一七、三、八	歩七九歩八〇野砲二六二夫々各一部砲隊属邀撃に任ず
一七、三、八	「備考」昭和一八、七、九独逸一二一板団の復帰と共に独立野戦高射砲中隊四十二中隊に改編せらる
一九、九	「アイタペル」作戦の後方担送 以後食糧断絶期の栄養失調「マラリヤ」及地上戦中 「備考」右の外空襲及「マラリヤ」に依る損害は地域及時期の如何を問はず 全期に亘り不斷に多発せり 部隊長、少佐、多田 実、昭和二〇、三、一七戦死

日本書紀

之、中村 落合兵一 帶岡県小笠原郡阿城村番田 爾後代理

才四十野戦道路隊部隊略歴

昭和一〇一五七部隊

年月日	概要
昭和八、三、八	岡山 中部才五十二部隊 岡山県岡山市
一八、三、三	宇品
一八、六、〇	「ウエワクレ」
八六、一、九四	「パラオ」上陸同地道路作業
一九五、一、九八	「ウエワクレ」「ボイキン」「マルデツプ」間自動車道構築
一九九、一、九二	「アクタペ」作戦（自動車道構築及担送）
一九九、一、二八	「ブーツ」旗山間自動車道補修（河配属）
	山南転進才四十師団の指揮下にありて自活及激戦
	「アイタペ」作戦（食糧不足及担送）
	「ブーツ」旗山間道路作業（昭和一九九、一、九二）（栄養失調及「マラリヤ」）
	食糧断絶下の山南転進機動
	「備考」右の外空襲及「マラリヤ」に依る損害は地域及時期の如何を問はず
	全期に亘り不斷に多発せり
	部隊長 / 少尉 里田 調 昭和一九、一、三、三の戦死
	え、大尉 福井源次郎 神戸市兵庫区港町一丁目七四 爾後代理

特設建築勤務才二十六中隊部隊略歴

年月日	概 要
昭、一八、四九	福井県立寄（昭南） 南方総軍中部才二十四部隊和歌山市
一八、五、五	星港
一八、七、二〇	「ウエワクル」（主力）及「ホルランヂヤル」（一部） 「パラオ」に於て建築作業 「ウエワクル」の主力（約四八） 「ウエワクル」地区に於ける建築作業 「アイタペル」作戦（「ソナム」附近移送） 「ダグアル」附近より山南地区に移動し現地自給及食糧供出「ホルランヂヤル」部 「ホルランヂヤル」地区建築作業 「ホルランヂヤル」より「サルミ」に何い転進 「サルミ」地区の警備 復員完結 「ウエワクル」方面 「アイタペル」作戦（食糧不足下の移送） 以後の食糧断絶及山南への機動 「ホルランヂヤル」方面
一九、九	
二一、一、八	
一九四一、九、六	
一九四一、九、四	
一九四一、九、二	
一九四一、九、一	
一九四一、八、二八	
一九四一、八、二六	
一九四一、八、二四	
一九四一、八、二二	
一九四一、八、二〇	
一九四一、八、一八	
一九四一、八、一六	
一九四一、八、一四	
一九四一、八、一二	
一九四一、八、一〇	
一九四一、八、八	
一九四一、八、六	
一九四一、八、四	
一九四一、八、二	
一九四一、八、一	
一九四一、七、三十一	
一九四一、七、二十九	
一九四一、七、二十七	
一九四一、七、二十五	
一九四一、七、二十三	
一九四一、七、二十一	
一九四一、七、十九	
一九四一、七、十七	
一九四一、七、十五	
一九四一、七、十三	
一九四一、七、十一	
一九四一、七、九	
一九四一、七、七	
一九四一、七、五	
一九四一、七、三	
一九四一、七、一	
一九四一、六、三十	
一九四一、六、二十八	
一九四一、六、二十六	
一九四一、六、二十四	
一九四一、六、二十二	
一九四一、六、二十	
一九四一、六、十八	
一九四一、六、十六	
一九四一、六、十四	
一九四一、六、十二	
一九四一、六、十	
一九四一、六、八	
一九四一、六、六	
一九四一、六、四	
一九四一、六、二	
一九四一、五、三十一	
一九四一、五、二十九	
一九四一、五、二十七	
一九四一、五、二十五	
一九四一、五、二十三	
一九四一、五、二十一	
一九四一、五、十九	
一九四一、五、十七	
一九四一、五、十五	
一九四一、五、十三	
一九四一、五、十一	
一九四一、五、九	
一九四一、五、七	
一九四一、五、五	
一九四一、五、三	
一九四一、五、一	
一九四一、四、三十	
一九四一、四、二十八	
一九四一、四、二十六	
一九四一、四、二十四	
一九四一、四、二十二	
一九四一、四、二十	
一九四一、四、十八	
一九四一、四、十六	
一九四一、四、十四	
一九四一、四、十二	
一九四一、四、十	
一九四一、四、八	
一九四一、四、六	
一九四一、四、四	
一九四一、四、二	
一九四一、三、三十一	
一九四一、三、二十九	
一九四一、三、二十七	
一九四一、三、二十五	
一九四一、三、二十三	
一九四一、三、二十一	
一九四一、三、十九	
一九四一、三、十七	
一九四一、三、十五	
一九四一、三、十三	
一九四一、三、十一	
一九四一、三、九	
一九四一、三、七	
一九四一、三、五	
一九四一、三、三	
一九四一、三、一	
一九四一、二、二十八	
一九四一、二、二十六	
一九四一、二、二十四	
一九四一、二、二十二	
一九四一、二、二十	
一九四一、二、十八	
一九四一、二、十六	
一九四一、二、十四	
一九四一、二、十二	
一九四一、二、十	
一九四一、二、八	
一九四一、二、六	
一九四一、二、四	
一九四一、二、二	
一九四一、一、三十一	
一九四一、一、二十九	
一九四一、一、二十七	
一九四一、一、二十五	
一九四一、一、二十三	
一九四一、一、二十一	
一九四一、一、十九	
一九四一、一、十七	
一九四一、一、十五	
一九四一、一、十三	
一九四一、一、十一	
一九四一、一、九	
一九四一、一、七	
一九四一、一、五	
一九四一、一、三	
一九四一、一、一	
一九四一、〇、三十	
一九四一、〇、二十八	
一九四一、〇、二十六	
一九四一、〇、二十四	
一九四一、〇、二十二	
一九四一、〇、二十	
一九四一、〇、十八	
一九四一、〇、十六	
一九四一、〇、十四	
一九四一、〇、十二	
一九四一、〇、十	
一九四一、〇、八	
一九四一、〇、六	
一九四一、〇、四	
一九四一、〇、二	
一九四一、〇、一	

昭、一八、四九

南洋才六支隊部隊略歴

年月日	概	要
昭一八、二、天	松山 東部才六十二部隊 神奈川 梶川崎市	
一九、一、四	宇品	
一九、三、四	「ホルランヂヤ」	
	「パラオ島警備	
一九、四、三	「ホルランヂヤ」地区警備及遊撃戦闘	
一九五、一、九六	「ホルランヂヤ」より「サルミ」に転進	
一九七、二、八	「サルミ」地区警備	
	「備考」戦車中隊及一部の人員は「パラオ」に残留し後才十四師団の指揮下に入り他部隊へ独立混成才五十三旅団機関砲中隊へに転属せらる	
二、一、六、八	復員完結	
	「パラオ」より「ホルランヂヤ」への輸送途中遭難（四五名）	
	「ホルランヂヤ」戦闘	
	「ホルランヂヤ」より「サルミ」への転進（食糧不足「マラリヤ」）	
	「サルミ」地区の警備（食糧不足「マラリヤ」）	
	「備考」右の外空襲及「マラリヤ」に依る損傷は地域及時期の如何を肉はず	
	全期に亘り不斷に多発せり	

※外東ニユ

部長

ノハ大佐 松尾太郎

ス、大尉 斎藤大

昭和一九年三、三戦死

昭和一九年四、二三戦死 爾後の代理

1052

(1/3)

1052

「ホルランデヤ」より「サルミ」への転進（食糧不足と「マラリヤ」）
「備考」右の外空襲及「マラリヤ」に依る損害は地域及時期の如何を問はず
全期に亘り不斷に多発せり
部隊長 大尉 榎本直次 昭和二六「ラバウル」に於て戦死処刑

オ九固定通信隊部隊略歴

年月日	概 要
昭一八、五、三	「ラバウル」に於て編成
一八、九月	「ラバウル」ー「パラオ」を経て出発
一八、九月	「ウエワク」ー「ニューギニー」上陸地矣
一八、九月、三	「ウエワク」ー「ボイキン」附近に於て骨幹無線通信に任ず
一八、九月、三	山南「ハンダラ」ー「アバウヤ」附近に於て自派及警備
二一、一、二四	復員完結
一九、九	一七名の「ホルランヂヤ」転進（昭和一九四一）全滅 食糧断絶期以後の栄養失調及「マラリヤ」特に此の間の通信強行 「備考」右の外空襲及「マラリヤ」に依る損害は地域及時期の如何を問はず 全期に亘り不漸に多発せり 部隊長名 大尉 大沢 孝 東京都淀橋区戸塚町二ノ八二 昭和五、五、五 転出 大尉 清水 博 静岡県駿東郡愛鷹村島谷 生還

オ九固定通信隊

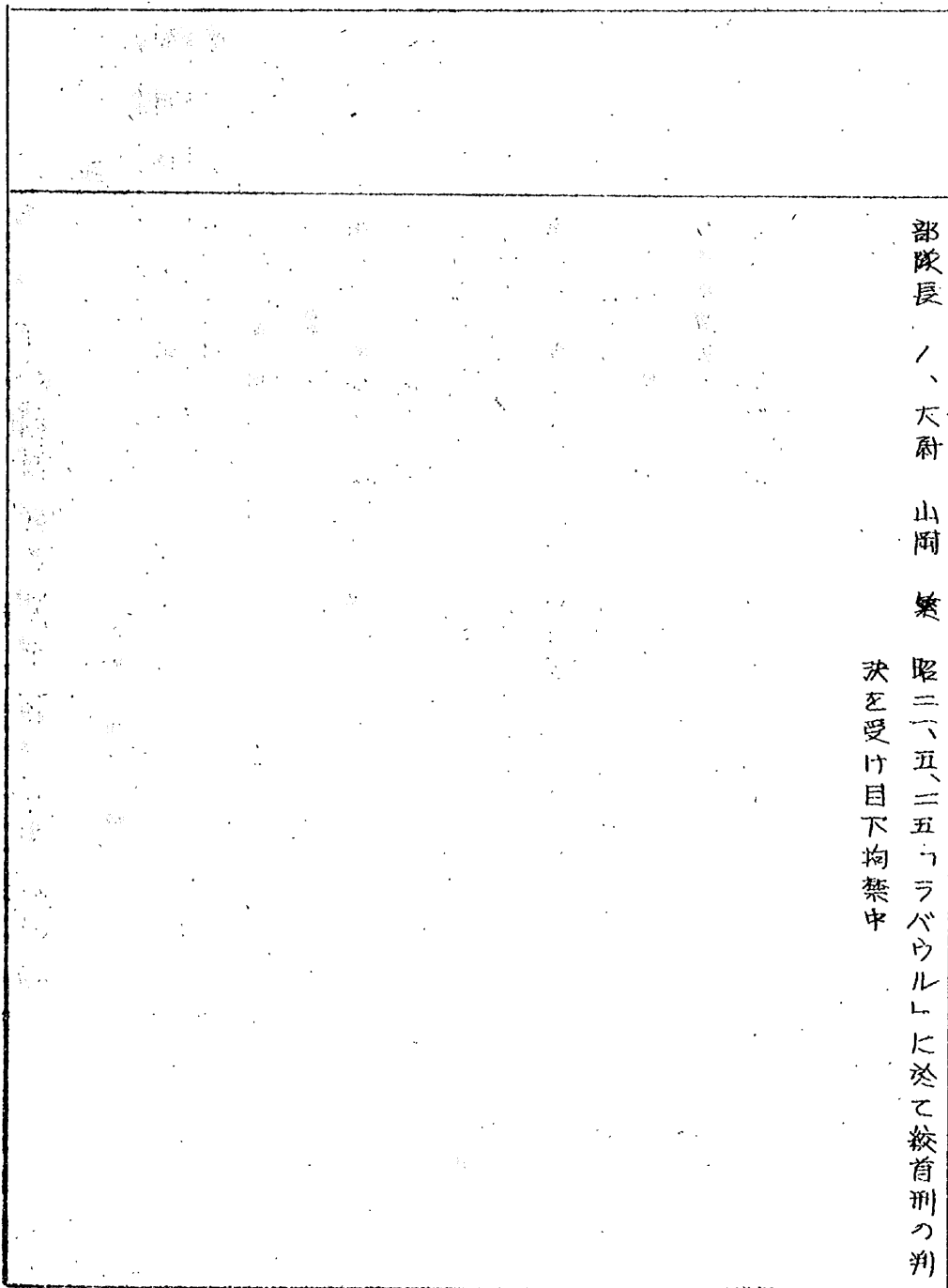
水上勤務才三十七中隊部隊略歴

年月日	概要
昭和十六年八月	上旬東京に於て編成
一六、八月	上旬神戸港出発、大着
一八、三、三	金山
一八、四、二八	「ハンサレ」「ニユーギニー」上陸
一八、四、二八	「ハンサレ」に於て揚陸作業
一八、四、二八	「ウエワク」に於て揚陸作業
一九、三、三	「ウエワク」に出発、「ホルランデヤ」に向う
一九、三、三	此の主力は「ホルランデヤ」に於て敵の上陸に会し、十九年四月―十九年六月
	「サルミ」に戦進せるも殆ど全滅す
	一部「ウエワク」に残りたるものは軍司令部に転属(数名)
	「ホルランデヤ」より「サルミ」への転進(食糧不足、「マラリヤ」)
	「備考」右の外空襲及「マラリヤ」に依る損害は地域及時期の如何を問はず
	全期に亘り不斷に多発せり
	部隊長名 中尉 高橋宜二

特設水上勤務才士七中隊部隊略歴

年月日	概要
昭一八、四、五	佐世保（昭南） 南方総軍西部才士十五部隊 佐世保
一八、五、五	昭南
一八、五、六	「ウエワク」
	特別状況なし
一八、五、一六	「ウエワク」揚陸作業及飛行場作業 主力「ブーツ」揚陸飛行場作業
一八、五、一六	一部「ウエワク」作業続行
一八、五、一六	「ボイキン」揚陸及貨物廠作業
一八、五、一六	「オランダ」に於て自活
一八、五、一六	「オランダ」より山南転進「モイ」附近自活
一八、五、一六	「セピツク」クマンバス」地区自活及「サクサク」供出
一八、五、一六	歩三三七に属し
一八、五、一六	「オランダ」より「モイ」地区への山南転進（食糧不足、栄養失調）
一八、五、一六	「モイ」地区に於ける自活（食糧不足、栄養失調）
一八、五、一六	「千マイゴール」地区戦斗
一八、五、一六	「備考」右の外空襲及「マラリヤ」による損害は地域及時期の如何を問はず
一八、五、一六	全期に亘り不斷に多発せり

ひ内製ニユ



部隊長ノ、大尉 山岡 繁

昭二、五、二五、ラバウルに於て絞首刑の判
決を受け目下拘禁中

(37)

1057

才八師団才九陸上輸卒隊部隊略歴

申受 中村(勝) 酋長

年月日	概要
昭二〇、七、元	申受年月日 弘前師管区歩兵才二補充隊(東北五八部隊)―元東部五八部隊 秋田市長野町 連絡の爲米隊者 伊藤華蔵軍曹 現地部隊に關する事項 当部隊は元東部才五八部隊に於て編成せられ出動したるものなり、昭和十六年頃なりと云う、以前は岡部隊と称せしも後(十九年七月十日頃か)兵団文字は洋と変り現在に至るといふ現地に於ける所在地は不明にして只ニユーギニヤ島に在りと云うのみなり、現地よりの通信は全然なし又留守部隊の照会に対する回答もなし、部隊歴史もなし 名簿整理状況 記入未済の事項は生年月日不明の者二名あるのみ、他は全部整理を了せりと云う

外東ニエー

特設水上勤務才十八中隊部隊略歴

年月日	概要
昭二八、四、元	佐世保（昭南）に於て編成
一八、五、五	昭南出港
一八、五、六	「ウエワク」にニューギニー上陸地吳
一八、五、六	「ウエワク」揚陸及飛行場作業
一八、五、五	「ブーツ」揚陸作業及飛行場作業
一八、五、八	「コアン」及「スマイン」に於て自活
一八、五、六	「セピツク」地獄（「モイ」次で「クマンバス」地区）に於て自活及食糧生産補給
三〇、七、一八	歩二三七三編入「チマイゴール」地区遊撃
三二、五、三	復員完結
一九、九	食糧断絶期以後の栄養失調及「マラリア」特に此の間の山南移動機動 「チマイゴール」附近遊撃戦斗 「箱着」右の外空襲及「マラリア」に依る損害は地獄及時期の如何を問はず 全期に亘り不斷に多発せり 部隊長名 ノ、大尉 荒木寛吉 大分県玖珠郡森町大字森九七三 生還

特設水上勤務才十九中隊部隊略歴

通称号 艦才一〇三八一部隊

年月日	概要
昭一八、四、五	（昭南）「クアラランプール」南方複軍西部才七十五部隊 佐世保
一八、五、五	昭南
一八、五、五	「ウエワク」
一八、五、四	「ウエワク」揚担及飛行場作業
一九、一、一八	「ラインボ」に於て自活
一九、一、一八	「ラインボ」より山南「ヤワ」地区に転進及「ヤワ」附近自活
一九、一、一八	「セピツク」「クマンバス」地区に転進自活及「サクサク」供出、一部は「
一九、一、一八	エツシワン」附近「セピツク」上流地区の偵察及警備
	「ラインボ」より山南「ヤワ」地区への転進（食糧不足栄養失調）
	「ヤワ」地区に於ける自活（食糧不足栄養失調）
	「ヤワ」より「クマンバス」への転進間（食糧不足栄養失調）
	備考「右の外空襲及「マラリヤ」に依る損害は地域及時期の如何を問はず全
	期に亘り不断に多発せり
	部隊長 大尉 出水浪雄 昭和二三「ラバウル」に於て戦犯処刑

電信オ三連隊部隊略歴

年月日	概 要
昭一六、八、三	相模原 東部オ八十八部隊 神奈川県相模原
一七、一、三	釜山
一七、一、三	「ラバウル」 特別状況なし
一七、二、一八	「ラバウル」を中樞とし「ブナ」「ラエ」「ワラ」「マダソ」「ウエワ」と無線連絡
一八、四、一、九	「マダソ」中樞時期各方面との有無線連絡
一九、四、一、九	「アイタペ」作戦へ連隊主力を以て有無線の全力を挙げて軍攻撃即応
一九、九、一、三	所要の有無線通信を確保しをし自派「ボイキン」「アルン」「ニユイング」「ハンガラ」地区
二〇、四、一、八	所要の通信を確保しながら激戦戦中
二一、一、一七	復員完了
一九、九	「アイタペ」作戦 食糧断絶期以後の栄養失調及「マラリヤ」特に此の間機動と通信任務遂行 激戦戦中 「ホルラン」「ヤレ」にありし「オ」中隊の全滅 「備考」右の外空襲及「マラリヤ」に依る損害は地域及時期の如何を問はず 全期に亘り不斷に多発せり

独立工兵第三十連隊部隊略歴

通称号 極オ六〇一七部隊

年月日	概要
昭和十八、二、九	高槻 中隊オ二十九部隊 大阪府高槻
一八、三、三	宇呂
一八、四、三	「ラバウル」
一八、四、六	「ラバウル」を經て「サラモア」上陸此の間陣地構築整備
一八、四、九	「ツルブル」飛行場整備（一部オニ中隊は「ラバウル」に於て高射砲陣地構築）
一八、四、一六	「サラモア」戦に参加（主として陣地構築）
一八、四、一八	「サラワケット」越駈進
一八、四、一九	「キアリ」に「ナブリバ」地区整備
一八、四、二〇	「キアリ」に「マゲン」に「ウエワク」へ（「ハ」号作戦）
一八、五、一八	「アイタペ」作戦（中隊は中一線に主力は後方道路に構築及担送
一八、五、二〇	「ウエワク」附近自衛及邀撃
一八、五、二二	「サラワケット」駈進（難路及食糧不足）
一八、五、二四	「ハ」号作戦（「ガリ」駈進）難路及食糧不足
一八、五、二六	「アイタペ」作戦（オ一線戦及担送）
一八、五、二八	食糧断絶期以後の栄養不良及「マラリヤ」特に此の間の機動及戦術

約一四〇
約六五
約三〇

外東ニユル

「備考」右の外空襲及「マラリヤ」に依る損害は地域及時期の如何を問はず
全期に亘り不斷に多発せり

部隊長 中佐 村井莊次郎 山形県鶴岡新屋敷井町乙四ノ一 生還

才百二十三兵站病院部隊略歴

年月日	概 要
昭、一八、三九	弘前に於て編成
一八、三、十	宇品港出發
一八、七、五	「ハンサレ」「ニューギニー」上陸地矣
一八、八、三	「マダン」に病院開設
一九、一、五	「ウエワク」へ転進途中「ハンサレ」に於て約一月病院開設
一九、五、八	「ウエワク」才百十七兵站病院の指揮下に入り病院開設
一九、一、二	山南「ビマ」に於て自活
一九、三、一六	「セピツク」に至り庄下支隊療養所開設
一九、九	食糧断絶期以後の栄養失調及「マラリヤ」 「備考」右の外空襲及「マラリヤ」に依る損害は地域及時期の如何を問はず 全期に亘り不斷に多発せり
	部隊長名 /、大尉 小泉重政 秋田市東根小屋町一二 生還

才百二十三

才二十師団司令部部隊略歴

通称号 才二十師団 朝鮮京城

年月日	概
昭和七、三	京城 留才二十師団 朝鮮京城
一八、一八	釜山
一八、一三	「ウエワクレ」 出港後特別状況なし
一八、一三	「ウエワクレ」 (飛行場、整備及場塔の指揮)
一八、一八	「アメレート」 (「マダン」南側) 及「クワトール」 (「フィニスデル」道路構築)
一八、一八	「フィンシハーフェン」 作戦 (「サデルベルグ」高地附近)
一九、一五	「シオ」より「ガリ」 「マダン」 (以上「ハ号」作戦) 及「ハンサ」を経て「ウエワクレ」へ
一九、一五	「アイタペ」 作戦
一九、一五	「オクナール」 附近 (山北警備隊の指揮)
一九、一五	山南「アリス」 附近に転移山南攻撃隊の指揮

1065

オ二十師団歩兵団司令部部隊略歴

年月日	概要
昭一七、一二	京城に於て編成
一八、一八	釜山出発
一八、一三	「ニューギニー」上陸
一八、一	「ウエワク」より直に柳川支隊司令部として「マダン」に前進し「マダン」地区警備揚格に任したる後主として「フイニスデル」山系自動車道の構築に任す
一九、一二	中井支隊司令部へ軍直轄となり「カイアピット」作戦「フイニスデル」作戦「サイドル」附近中野集団へ「ハ」号作戦へ収容作戦に任す
一九、三、九五	師団長の指揮下に復帰し「マダン」「ハンサ」を経て「ウエワク」へ此の間中井機動促進隊となり「セピック」渡河を促進す
一九、六、一八	「アイタペ」作戦
一九、一、二二	山南転進師団の山南部隊を指揮し自若及食糧供出
二〇、三、二五	軍直轄三宅部隊司令部となり山南遊撃隊
二〇、六、二八	師団指揮に復帰し遊撃隊

歩兵才八十連隊部隊略歴

通称号 朝や二〇五五部隊

年月日	概 要
昭一七、三、三	大邱に於て編成
一八、一、五	釜山出発
一八、一、三	「ウエワクル」(主力)
一八、三、二	「ハンサレ」(一部)「ニコイヤニール」上陸
一八、一、八	「ウエワクル」飛行場整備
一八、一、八	「マダン」地区に前進し「フィニステル」山系道路作業
一八、一、八	「フィニシ」にオニ十師団先遣部隊として前進十八年十月師団主力に合し「フィニシ」作戦
一八、一、八	此の間オニ大隊は六月より「ラエ」分「モア」作戦十一月連隊に合す
一九、一、九	「シオ」より「ガリ」「マダン」(以上「ハ」号作戦)及「ハンサレ」を経て「ウエワクル」へ
一九、一、九	「アイタペ」作戦
一九、一、九	「ブーツ」地区警備及邀撃戦中
二〇、一、二	山南に転進し邀撃戦
二〇、一、二	「ラエ」「サラモア」作戦(オニ大隊)へ猛烈な戦肉及「サラワケット」転

一九九月

進

「フイシ」作戦（長期食糧不足下の激烈な戦闘）

「ハ」号作戦（「カリ」転進）長距離食糧不足下四十日の行軍）

「アイタペ」作戦に於ける猛攻（敵弾）

以後食糧断絶下の激烈なる戦闘及疾病

「備」右の外空襲及「マ」に依る損害は地域及時期の如何を問はず

全期に亘り不斷に多発せり

部隊長 ノ、少將 三宅貞彦 昭和十九年四月十七日転出 生還

え、大佐 井手篤太郎 愛媛県越智郡大井村字新田四六 生還

1068